

富山大学 (富山県)



一人ひとりの興味・関心を尊重しながら、日本語・日本文化に関する研修を行う。

- ① 基礎的な日本語・日本文化学習の指導を受ける。
- ② 日本語・日本文化に関する、より専門性の高い指導(学部の専門科目)を日本人の学生と一緒に受ける。
- ③ 各人のレベルや、①と②のバランスを考え、個別のカリキュラムを編成する。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、2005年10月に富山大学(1949年設立)、富山医科薬科大学(1975年設立)及び高岡短期大学(1983年設立)の3大学が統合された、幅広く豊かな教育・研究施設を有する国立の総合大学である。

2018年5月現在、学生数9,163人(学部生及び大学院生)である。また、学術交流協定を30か国(アメリカ合衆国、イギリス、エジプト・アラブ共和国、オーストラリア、タイ王国、大韓民国、中華人民共和国、マレーシア、ロシア連邦など)128機関と結び、積極的に留学生を迎え入れており、国際機構を中心に受入れ体制の整備も進んでいる。

学部: 人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 薬学部, 工学部, 芸術文化学部, 都市デザイン学部

大学院研究科: 人文科学研究科, 人間発達科学研究科, 経済学研究科, 芸術文化学研究科, 生命融合科学教育部, 医学薬学教育部, 理工学教育部, 教職実践開発研究科

② 国際交流の実績 (2018年5月現在)
大学間交流協定校: 16か国・地域37機関

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2018年: 留学生数	307人,	日研究生数	4人
2017年: 留学生数	313人,	日研究生数	4人
2016年: 留学生数	314人,	日研究生数	2人

④ 地域の特色

富山県は、3000m級の北アルプス連峰を望み、日本海に面する自然に恵まれたところである。地理的には日本のほぼ中央に位置し、四季の移り変わりがはっきりしており、冬の雪景色も美しい。世界遺産「五箇山」の集落、全国的に有名な民謡「越中おわら節」など興味深い文化を育む場所でもある。

富山大学のある富山市は県庁所在地であり、人口約42万人をかかえる近代的な都市である。2015年3月、北陸新幹線開業により、東京へは約2時間で移動が可能となった。また、市内には富山空港(東京まで約1時間)がある。水と空気と海産物がおいしく、文化的施設の整っている便利などとして、全国的に住みやすい街の最上位にあげられている。



富山大学
(五福キャンパス)

■コースの概要

① 研修目的

- (a) 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。
- (b) 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② コースの特色

留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と、人文学部、人間発達科学部、経済学部で開講されている幅広い日本語・日本文化に関する専門科目の中から、各自の興味とレベルにあわせて授業科目を履修する。それと同時に、指導教員(人文学部又は人間発達科学部)からの個人指導を随時受ける。個人指導の中で各々に研究課題を定め、修了レポートにまとめる。

③ 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)
(人文学部5名、人間発達科学部5名)
*各学部に所属する。

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、以下の要件を満たす者とする。

(学歴)

渡日及び帰国時点で外国(日本国以外)の大学の学部にて在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者

(日本語能力)

国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N3以上の日本語能力を有することが望ましい。

⑤ 達成目標

- ・各自が立てたカリキュラムを履修し、研究計画を進め、日本語で修了レポートを完成させる。
- ・国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N1相当の日本語能力を身につける。

⑥ 研修期間

2019年10月1日～2020年8月31日
(修了式は8月末を予定)

⑦ 研修科目の概要

1) 必須科目

本大学の日研究生プログラムは、各々のレベルに沿ったカリキュラムを履修することになっているので、必須科目は設けていない。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

なし。(ただし、見学、地域交流等は後述の⑧「年間行事」で体験することができる。)

3) 修了研究の内容

各自の関心とレベルにより立てた個別カリキュラムをもとに履修し、研究計画を進め、日本語で修了レポートを完成させる。

4) 日本人学生との共修等の機会

日本語・日本文化に関する、より専門性の高い学部の専門科目を日本人の学生と一緒に受ける。

5) その他の講義、選択科目等

[a] 日本語・日本文化に関する授業科目(2018年度現在)
最新の情報はホームページでご確認ください。

総合日本語コース(上級)			総合日本語コース(中級)		
科目名	授業時間数		科目名	授業時間数	
	秋	春		秋	春
読解Ca	30	30	文法・表現Ba	60	60
読解Cb	30	30	文法・表現Bb	60	60
文法C	30	30	文法・読解Ba	60	60
作文C	30	30	文法・読解Bb	60	60
聴解C	30	30	文法B	60	60
会話C	30	30	作文B	30	30
漢字C	30	30	聴解・会話B	30	30
表現技術C	30	30	漢字B	30	30
日本文化C	30	30			

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語B	60	60
日本事情/芸術文化	30	-
日本事情/自然社会	-	30
異文化理解	-	30

[b] 専門科目(一般学生用)

各学部で開講される幅広い専門科目より授業科目を選択する。以下に各学部の日本語・日本文化に関連する科目のある専門分野を紹介する。

<人文学部>

日本語・日本文化に関する分野:
人間学, 言語学, 日本語教育学, 日本史, 文化人類学, 国際関係論, 国際文化論, 日本語学, 日本文学など
(*詳しくは人文学部HP参照 富山大学HP>人文学部)

<人間発達科学部>

日本語・日本文化に関する分野:
教育学, 福祉, スポーツ,
日本語学, 日本文学, 日本史, 日本地理, 芸術など
(*詳しくは人間発達科学部HP参照 富山大学HP>人間発達科学部)

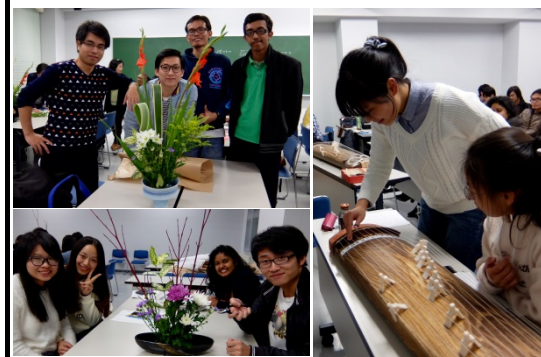
<その他>

日本語・日本文化に関連のある経済学部授業(経済学, 経営学, 経営法学)や教養教育科目も履修できる。

* 専門科目及び「日本語B」「日本事情/芸術文化」「日本事情/自然社会」「異文化理解」は、
富山大学HP>キャンパスライフ>Webシラバス(授業案内)
総合日本語コースは、
富山大学HP>学部・大学院・施設>国際機構
にシラバスを掲載。



日本事情「書道」



日本事情「華道」「日本の民謡」



実地見学旅行

⑧ 年間行事・年間スケジュール

2019年9月下旬 渡日

2019年10月～2020年8月

スタディ・エクスカージョン（富山の文化施設見学）

実地見学旅行

（日本の文化や歴史を学ぶ機会。各学部主催）

日本人学生による支援交流活動

（個別学習支援・交流会・パーティーなど）

学生等による異文化交流会

（各国の研究者、留学生、国際交流関係者の集い）

この他にも地域の協力を得て、ホームステイ／ホームビジットプログラム、スキーツアー、おわら踊り・民謡・ゆかた着付・茶道体験、新春パーティー、お花見、バーベキュー大会、ボウリング大会などが実施されており、地域の人々との交流の機会も提供されている。

2020年8月 修了式

2020年8月下旬 帰国

⑨ 指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員と、学部の留学生担当教員及び国際機構教員が協力して、学業及び生活面の個別指導を行う。

⑩ コースの修了要件

- 1) 所定の時間数（秋期・春期各240時間以上、合計480時間以上）を履修しているか、修了レポートを提出しているか等を当該組織が判定の上、修了証を交付する。
- 2) 受講した科目で出席・試験などの基準を満たした者には、修得した科目及び時間数を記した履修証明書を発行する。
- 3) 指導教員（人文学部又は人間発達科学部）による個人指導の中で各々の留学生の研究課題を定め、その結果を修了レポートにまとめ提出させ、修了論集として発行する。

（*過去の修了レポートの題目

富山大学HP>人文学部>国際交流>短期留学生修了論集を参照）

■ 宿 舎

大学には、国際交流会館がありますが、部屋数に限りがあります。国際交流会館に入居できない場合は、大学が宿舎を紹介します。（大学の周辺にはアパートがたくさんあります。）

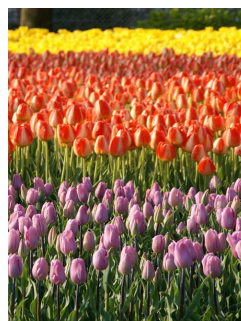
・ 国際交流会館（五福）の概要

部屋数：単身室 34室

設備備品：電磁調理器付キッチン、バス、トイレ、

エアコン、ベッド、机、いす、冷蔵庫など

その他設備：居室でのインターネット接続が可能（有料）



春



夏

富山の四季



秋



冬

■ 修了生へのフォローアップ

・富山大学日研生 修了後のキャリアパス（一例）

☆母国の大学で日本語を教える。

☆JETプログラム国際交流員として日本で働く。

☆富山大学大学院やその他日本の大学院に進学。

・修了後のネットワーク

☆Facebookによって近況を報告している。

■ 問合せ先

（担当部署）

富山大学国際部留学支援課

住所 〒930-8555

富山県富山市五福3190

TEL +81-76-445-6405（直通）

FAX +81-76-445-6093

E-mail ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp

富山大学国際機構ホームページ

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

富山大学ホームページ

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

日研生ホームページ

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/JSS/JSSjp.html>

Facebook

<http://www.facebook.com/972163439509496/>